病院の実力 ～千葉編 96

今回の病院の実力は、「不妊治療」を取り上げる。一覧表には、2014年の治療実績などを掲載した。

不妊治療には、月経周期から排卵日を予測して性交を指導する「タイミング法」、精子を洗浄・濃縮して排卵日に合わせて子宮に注入する「人工授精」、体外に取り出した卵子に精子をふりかけて受精卵をつくり、子宮に移植する「体外受精」などがある。一覧表の「延べ妊娠数」は、これらの治療により妊娠が確認された人数を集計した。

妊娠・出産率は、年齢が高くなるにつれて低くなり、35歳以上になると、より妊娠が難しくなる。一覧表には、延べ妊娠数のうち35歳以上の人が占める割合を示した。

不妊治療は通常、タイミング法や人工授精といった、より自然に近い方法から始める。それで妊娠できなければ、体外受精など、高度な不妊治療に進む。精子の動きが活発でない場合などは、卵子に針を刺して精子を注入する「顕微授精」が行われる。「体外受精の件数」は、延べ妊娠数のうち、顕微授精も含む高度な治療の件数を示した。

不妊治療は特に女性の心身への負担が大きい上、繰り返しても成功しない場合も多い。治療をいつ断念するかの決断も大切だ。治療の断念を促す目安の年齢を設定しているかどうかも尋ねた。

不妊治療

自然に近い方法から

治療 説明と同意の上で

高橋ウイメンズクリニック
高橋 敬一 院長

妊娠の大きな指標となるのは年齢だ。35歳を過ぎると妊娠能力が低下し、40歳以降での自然妊娠は厳しくなっていく。これは加齢に伴い、卵巣が老化して卵胞数の減少が起こり、卵子の質も低下することによる。

高齢になるにつれ、排卵日を予測して性交する「タイミング療法」や、採取した精子を洗浄・濃縮して妊娠しやすい期間に子宮内に注入する「人工授精」では妊娠する確率が低下していく。37歳以上で治療を始める場合は、体外で卵子と精子を受精させ、受精卵を子宮に戻す「体外受精」も視野に入れることが必要だ。

不妊の原因は、超音波検査や卵管造影検査のほか、血液検査などを行って調べる。当院では、患者に丁寧にインフォームド・コンセント（説明と同意）を行い、不妊治療への知識を身につけてもらった上で、治療を始めている。

不妊の3大原因として、排卵に障害がある「排卵因子」、卵管が閉塞や癒着を起こしている「卵管因子」、男性側に原因がある「男性因子」が挙げられる。

排卵因子は、月経不順やストレス、ホルモンバランスの異常などが関連し、卵管因子は、性感染症や子宮内膜症が要因となる。

不妊症の原因のうち半分は男性であることから、男性の検査も必要不可欠だ。軽症の乏精子症には人工授精が行われる。一方、重症の乏精子症では通常の体外受精では受精しないため、細いガラス針を通して精子を卵に注入する「顕微授精」を行う。

不妊治療は、経済的にも精神的にも負担がかかる。月経異常や既往症があり妊娠しない時や、年齢が35歳以上の場合は、早めに専門医を受診してほしい。

全国の調査結果は「くらし健康面」に掲載しています。次回は3月6日「C型肝炎」の予定です。

病院の実力「不妊治療」
医療機関別2014年治療実績
（読売新聞調べ）

医療機関名	延べ妊娠数	延べ妊娠数のうち35歳以上の割合（%）	延べ妊娠数のうち体外受精の件数	治療断念を促す年齢（歳）
千葉				
中野レディースク	1920	47	—	45
高橋ウイメンズク	933	67	618	45
高橋レディースク	419	51	125	なし
羅谷産婦人科ＩＶＦク	410	39	95	46
津田沼ＩＶＦク	387	74	266	なし
千葉メディカルセ	324	56	151	なし
市川アートク	137	57	42	45
パークシティ吉田レディースク	約120	75	約20	50
川崎レディースク	77	40	0	なし
亀田総合	51	51	23	なし
千葉大	46	89	20	45
大川レディースク	45	47	36	なし
東邦大佐倉	※1 29	100	29	50
国保旭中央	—	—	0	なし
国保松戸市立	—	—	—	43
茨城				
小塙医院	338	53	179	50
いがらしク	98	57	53	46
筑波学園	—	—	49	50
筑波大	—	—	—	45
埼玉				
ミューズレディスク	678	53	386	なし
恵愛生殖医療ク志木	632	80	270	45
セントウィメンズク	605	—	272	なし
大宮レディスク	344	62	206	47
埼玉医大総合医療セ	164	—	—	45
永井マザーズホスピタル	151	—	—	なし
かしわざき産婦人科	104	49	55	48
丸山記念総合	94	67	42	なし
大宮中央総合	約80	63	約20	43
地・埼玉メディカルセ	※2 35	77	18	なし
熊谷総合	31	58	6	45
瀬戸	※1 7	100	7	なし
埼玉医大	—	—	15	43

「セ」はセンター。「地・」は地域医療機能推進機構。「ク」はクリニック。「—」は不明または無回答。
※1　体外受精のみ
※2　人工授精と体外受精のみ